



準備・リセットのチャンス～3学期始業式～

3学期の決意

生徒会代表 小野寺結南さん

今日から3学期が始まります。各学年で決めた冬休みスローガンを守れるように冬休みを過ごすことができましたか。



冬休み中は、各部の活動もルーに沿って活動できていました。また12月24日に行われたリーダー研修会では、各学年のリーダーたちが集まって有意義な話し合いもでき、良い冬休みになったと思います。

3学期は、1年生は先輩になるために、2年生は最高学年になるために、3年生は受験のために各学年や個人で頑張っていきましょう。また、3学期は生徒会の取り組みとして、交流清掃やリボン day など、1年間のまとめとしてほしい様々な活動が入ってきます。また、その他にも各学年の活動があると思います。Leap の意味である飛躍を達成するために、特にみんなで協力したり、何かを達成するために頑張ったりする場面では「みんなで頑張っていこう！」などのポジティブ言葉がけや、助け合ったりなどの思いやった行動を大切にしましょう。また、based on standard、基礎基盤を大切に、特に「藤中スタンダード」を守る、意識することを大切に活動していきましょう。

新年あけましておめでとうございます。冬休み中大きな事件・事故などはなく、3学期を迎えることができたことを嬉しく思います。

さて、3学期の登校日は1・2年生が42日、3年生が41日と大変短いですが、それぞれ次のステップにつながる大事な時期です。このようなことを念頭に置いて、始業式の式辞で話をいたしました。以下はその要旨です。



1年の始まりは1月、しかし学校の年度の始まりは4月。ややこしいと思うかも知れませんが、ほとんどの国では日本と同じように1年の始まりが複数ありますし、それはとても良くできているなと思います。理由は2つです。

1つ目は、4月からの新しい生活に向けて、さまざまな決意や準備が必要だからです。特に3年生は4月からの高校生活に向けて、受験を控えています。これも4月からの生活に備えて色々な力をつける準備です。ですから「計画する力、自己分析力、我慢する力、コミュニケーション力、健康管理、ポジティブ思考」など、これからの人生を通じても必要な、さまざまな力を今、鍛えて欲しいと思います。

また1、2年生についても、2学期までの生活を振り返って浮かび上がった課題について、

具体的な改善策を考えて取り組んでみるのが、来年度に向けての準備となります。個人として、集団として、どのように動くべきか、実践を積んでその力を伸ばさなければなりません。これらのことに取り組むには、それなりの時間が必要だと思います。3学期の頑張りを期待しています。

2つ目の理由は、リセットのチャンスは多い方がいいからです。人間誰でも、失敗したり、色々なことがうまくいかない…と感じたりすることがあります。そういう悪い流れに一度乗ってしまうと…なかなか抜け出せない…人間の体や心は、流れに乗るのは得意でも、流れを変えるのは不得意なのだそうです。そこで、リセットです。一度スタート地点に戻る、目標を確認する、そういうことが必要です。もちろん、リセットするのは、いつでなければならぬということはありません。人は誰でも、いつでも、何度でもやり直しがききます。でも、何かきっかけがあった方がいい…。そのためにも、1年のスタートが複数あった方がよいと思うのです。新年のスタート、そして3学期のスタートを来年度への準備の始まり、あるいはリセットのきっかけとしてください。

寒風に負けず～県中スキー大会・大船渡駅伝～

1月10日、11日の2日間、安比高原スキー場で岩手県中学校スキー大会のアルペン競技が開催され、3年生の千葉光惺さんが出場しました。1日目のジャイアントスラローム、2日目のスラロームにおいて、悪天候から転倒して記録を残せない選手も続出した中、それぞれ2本とも完走し、実力を発揮することができました。

また同じく11日大船渡新春ロードレース大会が開催され、本校からは特設駅伝部男子2チーム、女子1チームが中学校駅伝の部に出場しました。県内の強豪チームが多く参加する中、選手とサポートに回った部員が一丸となって素晴らしいレースを展開してくれました。

今年度の大会はこれが最後となりますが、4月には「盛岡市内一周継走大会」があります。今回の大会で得た成果や課題をもとに、次の目標に向けてさらに練習を充実させて欲しいと思います。

両大会とも寒い中、保護者の皆様の送迎や応援等のご協力、誠にありがとうございました。

大会結果 ※敬称略

岩手県中学校スキー大会	千葉光惺 ジャイアントスラローム	20位	
	スラローム	16位	
大船渡新春ロードレース (駅伝の部) ※敬称略	男子A(岩淵凧翔、千葉煌玖、佐藤倫平、屋須龍輝)	41位	※51チーム参加
	男子B(畠山涼聖、菊地紅華、菊地奏良、佐川叶斗)	49位	
	女子(原朱李、三浦愛鈴、三浦恵蓮、千葉栞)	17位	※25チーム参加



理想の学校をつくるために～リーダー研修会～

冬休み中の12月24日(水)、生徒会執行部と専門委員長、及び1・2学年執行部を対象に、生徒会リーダー研修会が行われました。

生徒会活動を自主的・自律的に推進していくために、リーダーとしての心構えや話し合いの技術を学び、その資質の向上を図ること、さらに現在の学校課題を明らかにし、3学期からの活動の具体化を図ることを目的としています。

生徒たちは皆真剣な態度で参加し、協議の場では積極的に発言していました。特に学校生活の規範である「藤中スタンダード」の見直しに取り組むなど、自分たちの生活主体的に変えていこうというリーダーとしての意欲が伝わってくる研修会となりました。



- ・リーダーとは裏で人一倍努力している人だとわかったし、小さなことでも手を抜かない「凡事徹底」に改めて力を入れようと思いました。(生徒会長 佐藤佑心さん)
- ・藤中スタンダードについて、内容が全校に認知されやすいか、取り組みやすいかなど、立場をさまざま置き換えて考えていきたいと思いました。(副会長 佐川叶斗さん)
- ・生徒全員が藤中のことを好きになったり、誇りに思えるように、今までやって来なかったような活動や全校生徒が楽しく一つになれるような行事を企画していきたいと感じました。

(執行委員 熊谷洋人さん)